

令和 6 年度国際理解ワークショップ 進行シート




















令和 7 年 12 時月 9 日作成

大 学 名 _____ 新潟国際情報大学 _____

タイトル： _____ 実は私たちも当事者に！？ _____

_____ ～カンボジア紛争から考える意外と身近な紛争のこと～ _____

1. 本ワークショップに関連する SDGs の目標に○印をつけてください。

○印	SDGs17の目標	○印	SDGs17の目標	○印	SDGs17の目標
	 ① 貧困をなくそう		 ⑦ エネルギーをみんなに そしてクリーンに		 ⑬ 気候変動に 具体的な対策を
	 ② 飢餓をゼロに		 ⑧ 働きがいも 経済成長も		 ⑭ 海の豊かさを 守ろう
	 ③ すべての人に健康と 福祉を		 ⑨ 産業と技術革新の 基盤をつくろう		 ⑮ 陸の豊かさも 守ろう
	 ④ 質の高い教育を みんなに		 ⑩ 人や国の不平等 をなくそう		 ⑯ 平和と公正を すべての人に
	 ⑤ ジェンダー平等を 実現しよう		 ⑪ 住み続けられる まちづくりを		 ⑰ パートナーシップ で目標を達成しよう
	 ⑥ 安全な水とトイレを 世界中に		 ⑫ つくる責任 つかう責任		

2 : 本ワークショップの要旨

紛争はいつ、どこで、なぜ起こるのだろうか。紛争と言っても、家族や友達とのケンカから、さらには武力紛争(内戦や戦争)まで、その質と規模は様々である。このワークショップでは、カンボジア紛争を具体例として取り上げ、一見遠くの国で起きている私たちとは無関係に見える紛争と、日常生活の中の争いが本質的に同じものであることを参加者と一緒に発見したい。そして、紛争を自分事として捉えてもらい、どのように暴力化させず、平和的解決へ導けるのかを参加者と共に考えたい。

3 : 本ワークショップの目的(目標、実現したいこと)

一見遠くの国で起きている私たちとは無関係に見える紛争と、日常生活の中のけんかなどの争いが実は本質的に同じものであることを参加者と一緒に発見したい。さらに紛争を自分事として捉えてもらい、どのように暴力化させず、平和的解決へ導けるのかを参加者と共に考えたい。また、意見の対立は悪いこ

とではないということにも気づいてもらいたい。

4：本トピックをとりあげる理由

近年、国家間、国内での紛争が勃発している。紛争のもととなる意見の対立は決して悪いことではない。しかし、暴力化（武力化）することによって解決する時間が遅れ、被害が拡大してしまうことが問題である。本ワークショップでは我々とは無関係に見える紛争と、日常生活の中の争いが本質的に同じものであることを参加者と一緒に発見し、紛争を自分事として捉えてもらい、どのように暴力化させず、平和的解決へ導けるのかを参加者と共に考える。そして、近年抑圧されつつある意見の対立は悪いことではないことを知ってもらいたいため。

5 : 活動過程

(使用時間 : 前半 9:50~11:50 (120分) 後半 13:55~15:55 (120分))

参加人数:前半 39人 後半 40人)

過程 (所要時間)	活動内容	具体的な発問・ 説明・動きなど	ねらい	使用する 教材・備品	予想される反応、 その他注意事項
導入 :起 (26分)	あいさつ (5分) 紛争の定義説明 (6分) アイスブレイク「なりきり！カンボジア旅行！」 (15分)	大学生の自己紹介 班で自己紹介 ・名前 ・行きたい国 紛争の定義（意味）について説明する 紛争と戦争の違い(3分) スライドでカンボジアの写真を見せる。 ある人物の写真も提示し、どんな人に見えるか話し合ってもらおう。	メンバーも名前を知ってもらい、行きたい国の話をしてもらおう。 紛争について知ってもらおう この後に説明するカンボジアについて知ってもらおう。また承へ導入する。	ポインター ベル 名札シール <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">紛争の定義 「個人や集団が、同時に両立不可能なものをそれぞれ得ようとし、かつ目的実現のためには実力の行使も厭わず、自らが一方的に目標を達成しようとしている状態」</div> カンボジア T シャツ	チームごとの自己紹介にかかる時間の差を作らないようにする。

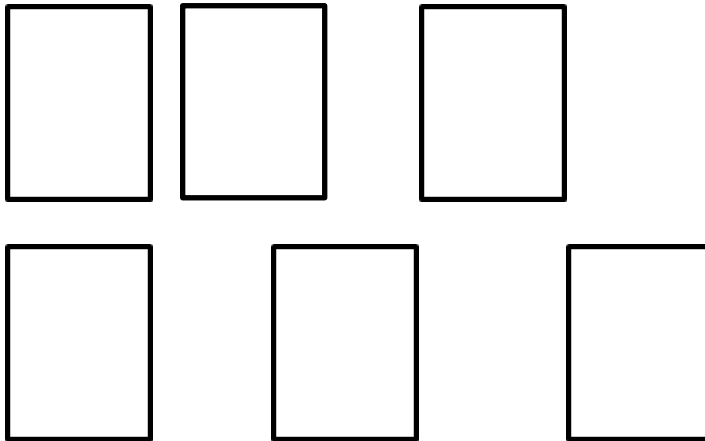
<p>展開：承 (40分)</p>	<p>カンボジア紛争説明 (18分)</p> <p>説明(13分) 地雷交換(5分)</p> <p>カンボジア紛争の解説を聞いての感想 (12分)</p> <p>カンボジア (4分) 紛争(4分) 発表(4分)</p> <p>休憩(10分)</p>	<p>カンボジア紛争について、簡単なストーリーに直して説明する (ポル・ポトの政策から、和平協定までの流れ、選挙実施からカンボジアの現状)</p> <p>大学生からの解説を聞いて、カンボジア紛争について、学生から思ったことを率直に話してもらおう。</p> <p>紛争に対してどのような事を考えたのか、発表(3班分) してもらおう</p> <p>感想発表によって、明らかになったカンボジア紛争の悪いが、しかし紛争は良いということを提示する。なぜ悪化したのかを示唆して休憩に入る。</p>	<p>カンボジア紛争について知ってもらおう</p> <p>カンボジア紛争について、続けて説明する。</p> <p>学生自身の率直な感想を聞くことで、カンボジア紛争の悪い部分を感じてもらおう。</p>	<p>地雷のレプリカ</p> <p>地雷交換×3 (1分ずつ)</p> <p>ホワイトボード</p>	<p>チームファシが出た発言をメモする</p>
-----------------------	--	--	---	--	-------------------------

<p>発展：転 (28分)</p>	<p>紛争解説 <u>(13分)</u></p> <p>解説(5分) 話し合い(5分) 発表(3分)</p> <p>どのように紛争に解決すれば良いのか。 <u>(10分)</u></p> <p>発表 <u>(5分)</u></p>	<p>紛争の役割、避けられない「意見の対立」を解説する。</p> <p>カンボジア紛争はなぜ多くの被害を出したのか。</p> <p>身近な紛争の例で悪化してしまった例を提示する。</p> <p>カンボジア紛争はどのように解決すればよかったのか。また、身近な紛争はどのように解決すれば良いのか。</p> <p>各班(3班分)から発表してもらう。</p>	<p>対立は避けた方がよいという誤認を避けるため</p> <p>紛争の悪化する原因について考えたことを踏まえ、解決へ導く思考を養う</p>	<p>裏紙</p> <p>ポストイット 模造紙 マーカー</p>	<p>チームファシガメモする</p>
-----------------------	---	---	---	--	--------------------

<p>まとめ : 結 (23 分)</p> <p>ワークショッ プ振り返り <u>(1 分)</u></p> <p>まとめ <u>(3 分)</u></p> <p>大学生による カンボジアに ついてのトー クショー <u>(13 分)</u></p> <p>アンケート <u>(5 分)</u></p> <p>予備 3 分</p>	<p>ワークショッ プ振り返り <u>(1 分)</u></p> <p>まとめ <u>(3 分)</u></p> <p>大学生による カンボジアに ついてのトー クショー <u>(13 分)</u></p> <p>アンケート <u>(5 分)</u></p>	<p>ワークショッ プを、振り返る</p> <p>意見の衝突（紛 争）は避けられ ないものであ る。悪いことで はないが解決手 段として暴力を 用いてはならな い</p> <p>今夏、実際にカ ンボジアへ行っ た大学生から、 その思い出と、 現在のカンボジ アの話をする。</p> <p>QR コード</p>	<p>カンボジア に対する明 るいイメー ジを持って もらう。</p>		
---	---	--	---	--	--

6 : 会場のセッティング (対面の場合のみ)

前



7：使用する教材

なし

8：参考にした資料

- ・『カンボジアの10年の歩み』：一九七九～一九八九年 フン・セン著；川口正樹訳 風響社（2022・10）
- ・『強化されるフン・セン体制：2023年カンボジア総選挙と世襲内閣の誕生 = The Strengthening of Hun Sen's Rule : Cambodia's 2023 National Assembly Elections and the Birth of the Hereditary Regime』 / 山田裕史編 オンデマンド版 千葉：日本貿易振興機構アジア経済研究所（2024・3 18）
- ・『現代世界の紛争解決学：予防・介入・平和構築の理論と実践』 / オリバー・ラムズボサム, トム・ウッドハウス, ヒュー・マイアル著；宮本貴世訳 東京：明石書店（2009・12）
- ・『ユーラシアの紛争と平和』 / 広瀬佳一, 小笠原高雪, 上杉勇司編著 東京：明石書店（2008・7）
- ・『平和構築のアプローチ：ユーラシア研究所の最前線』 / 広瀬佳一, 湯浅剛編 東京：吉田書店（2013・12）
- ・『戦争を知るための平和学入門』 / 高柳先男著 筑摩書房（2000・6）
- ・『どうすれば争いを止められるのか 17歳からの紛争解決学』 上杉勇司 WAVE出版（2023・1 31）
- ・『紛争解決暴力と非暴力』 / 長崎暢子 清水耕介編著 ミネルヴァ書房（2010・6）
- ・『わたしが見たポル・ポト：キリングファイルズを駆けぬけた青春』（2006 9） 馬淵直城著 集英社
- ・『人はなぜ人を殺したのか ポル・ポト派、語る』 船越美夏著 毎日新聞社（2013・9）
- ・『ガルトゥング平和学入門』ヨハン・ガルトゥング、藤田明史編著 法律文化社（2003・9）
- ・『アジアの虐殺・弾圧痕を歩く：/ポル・ポトのカンボジア / 台湾・緑島 / 韓国・濟州島/』 藤田賀久著 東京：えにし書房（2021・5）
- ・[カンボジア和平に関するパリ和平協定締結30周年について（外務報道官談話） | 外務省](#)
- ・[JIIA - 日本国際問題研究所](#)
- ・[在任37年、中国との関係重視 カンボジア首相 フン・セン氏 - 日本経済新聞](#)（2022 4 22）

- [パリ和平協定 30 周年から振り返るカンボジアの体制移行（山田 裕史） - アジア経済研究所](#)
- [ポル・ポト派 常軌を逸した恐怖支配 - 日本経済新聞（2022 9 22）](#)

)

9：その他

なし